

## 第2章 三原市のスポーツを取り巻く状況と課題

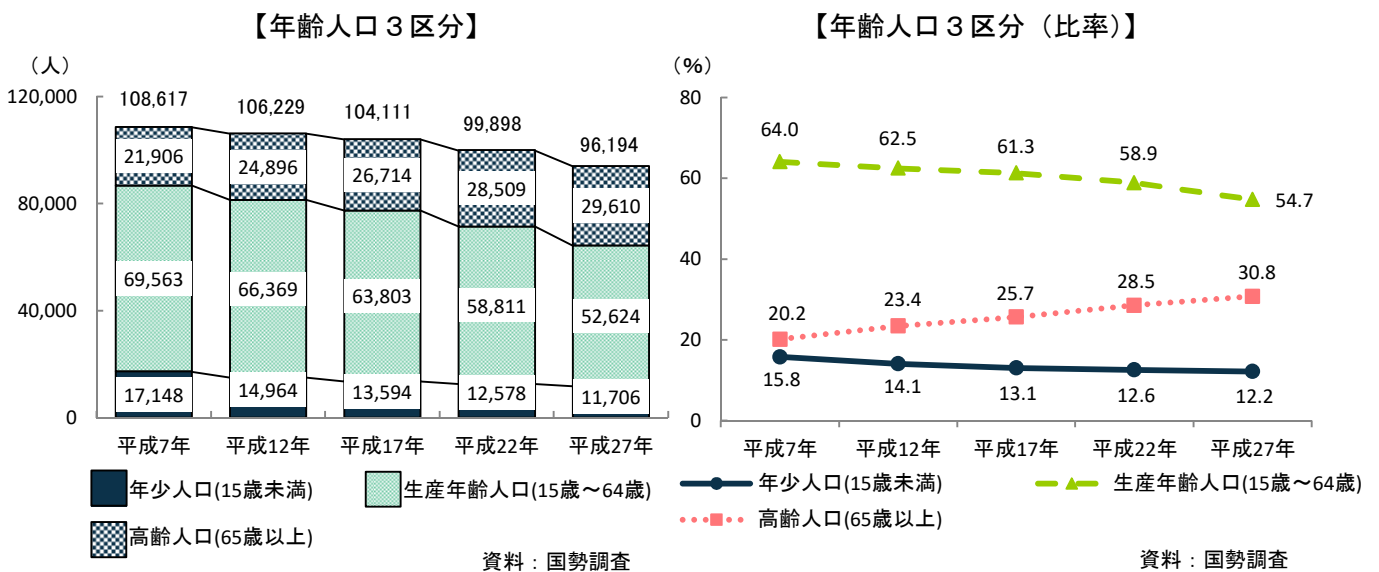
### 1 人口構造

#### (1) 年齢3区分人口

本市における人口は、平成7年では108,617人となっていますが、平成27年では96,194人と減少傾向にあります。一方で高齢人口（65歳以上）は年々増加傾向にあり、今後も少子高齢化がさらに進むことが予想されます。

少子高齢化の進行は、スポーツへの参加者の減少や、指導者や活動団体構成員の高齢化等、市民が身近な場でスポーツに取り組むための環境への影響が懸念されます。

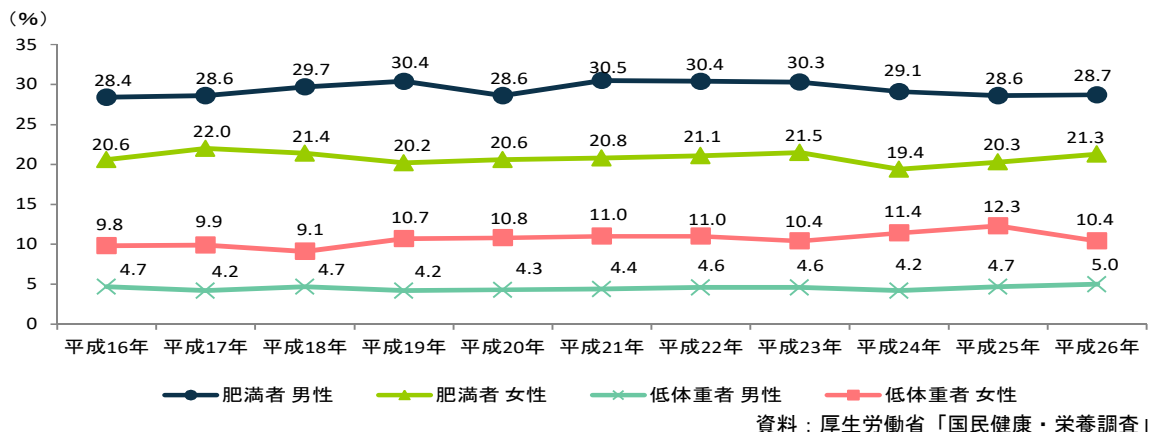
【人口の推移（三原市）】



#### (2) 健康

肥満・やせの状況の推移について、平成26年度時点で成人の肥満者の割合は、男性は28.7%、女性は21.3%となっており、10年間で大きな変化はなく、横ばいで推移しています。一方、やせの者の割合は、男性は5.0%、女性は10.4%となっており、男性は10年間であまり変化はみられませんが、女性はゆるやかに増加しています。

【肥満・やせの状況の推移（20歳以上/全国）】



## 2 スポーツ活動の現状

### (1) スポーツ施設の利用状況

現在、市のスポーツ施設は10カ所となっており、小・中学校の体育施設も開放しています。今後も、より多くの市民が利用できるようにスポーツ施設を積極的に活用していくことが必要です。

【スポーツ施設の利用状況】

施設名		利用人数（人）					
		H17		H27		増減	
三原 リ ジ ョ ン プ ラ ザ	主体育館	94,307	(計) 201,723	85,955	(計) 186,158	-8.9%	↓
	副体育館	23,072		14,284		-38.1%	↓
	温水プール	49,468		46,670		-5.7%	↓
	弓道場	4,918		5,077		3.2%	↑
	軽運動室	11,189		10,443		-6.7%	↓
	南館トレーニング室	18,769		23,729		26.4%	↑
三原 運 動 公 園	陸上競技場	33,367	(計) 81,531	24,123	(計) 112,500	-27.7%	↓
	スポーツ広場	5,993		13,450		124.4%	↑
	多目的広場（H18.4開設）	—		14,580		—	—
	テニスコート	21,444		33,504		56.2%	↑
	市民球場	20,727		25,113		21.2%	↑
	スケートパーク（H21.3開設）	—		1,730		—	—
久井 運 動 公 園	体育館	5,181	(計) 11,592	3,143	(計) 16,018	-39.3%	↓
	プール	1,491		5,472		267.0%	↑
	テニスコート	1,078		2,833		162.8%	↑
	ゲートボール場	1,087		670		-38.4%	↓
	自由広場	2,755		3,900		41.6%	↑
白 竜 湖 ス ポ ー ツ 村 公 園	白竜ドーム	11,219	(計) 36,270	14,905	(計) 47,966	32.9%	↑
	野球場	12,491		5,687		-54.5%	↓
	総合運動場	11,967		18,881		57.8%	↑
	テニスコート	593		3,631		512.3%	↑
	フットサル場（H22.5開設）	—		4,862		—	—
武道館	40,500		24,438		-39.7%	↓	
本郷体育センター	7,992		10,667		33.5%	↑	
北方グラウンド・ゴルフ場	10,688		28,242		164.2%	↑	
大和スポーツ広場	3,453		3,800		10.0%	↑	
江木スポーツ広場	3,150		2,395		-24.0%	↓	
吉田スポーツ広場	3,245		4,445		37.0%	↑	

資料：三原市教育委員会

【学校体育施設の利用状況】

区分			屋外運動場（回）			屋内運動場（回）			柔剣道場（回）		
H17	H27	増減	H17	H27	増減	H17	H27	増減	H17	H27	増減
小学校 31校	小学校 20校	↓	151	271	↑	3,911	2,272	↓	—	—	—
中学校 11校	中学校 10校	↓	105	100	↓	1,644	1,855	↑	664	678	↑

資料：三原市教育委員会

## (2) スポーツ少年団・中学校運動クラブの活動状況

現在、市内にはスポーツ少年団が39団体あります。団体数については、平成18年より増加していますが、活動への参加者数は減少しています。また、中学校（13校）のクラブ活動も同様に、部員数が減少しています。

少子化の影響で生徒数が減少しており、スポーツ少年団や学校の運動クラブの活動も継続が困難になっています。今後も、子どもたちがスポーツを継続的に行うことができるような機会や、「スポーツクラブ等へ入っていないが、できれば入りたい」という人が、すぐにスポーツを始めることができる環境づくりを進めていくことが重要です。

【スポーツ少年団の活動状況】

種目	団体数（団体）			団体員数（人）		
	H18	H28	増減	H18	H28	増減
軟式野球	13	13	→	224	197	↓
バレーボール	6	6	→	111	105	↓
空手	4	5	↑	102	81	↓
剣道	4	2	↓	67	25	↓
ソフトテニス	2	1	↓	62	26	↓
水泳	1	1	→	17	10	↓
柔道	1	0	↓	15	0	↓
ソフトボール	0	6	↑	0	86	↑
陸上	1	1	→	15	28	↑
サッカー	1	1	→	13	8	↓
バドミントン	0	1	↑	0	10	↑
バスケットボール	0	2	↑	0	20	↑
計	33	39	↑	626	596	↓

資料：三原市教育委員会

【中学校運動クラブ活動状況】

種目	学校数（校）			部員数（人）		
	H18	H28	増減	H18	H28	増減
軟式野球	12	12	→	376	226	↓
バスケットボール	12	10	↓	358	328	↓
ソフトテニス	9	8	↓	342	347	↑
卓球	10	10	→	339	337	↓
バレーボール	11	8	↓	316	198	↓
陸上競技	14	12	↓	295	355	↑
サッカー	8	8	→	209	209	→
剣道	4	1	↓	49	10	↓
硬式テニス	1	0	↓	17	0	↓
チアリーディング	1	1	→	16	9	↓
ソフトボール	1	1	→	11	20	↑
体操競技	1	1	→	6	9	↑
バドミントン	1	0	↓	5	0	↓
水泳	0	1	↑	0	6	↑
柔道	0	1	↑	0	6	↑
計	-	-	-	2,339	2,060	↓

資料：三原市教育委員会

### (3) スポーツ教室の開催状況

現在、市では9種目で46教室が開催されています。また、障害のある人を対象とした水泳教室など、様々な人が気軽にスポーツに取り組むことができる教室を開催しています。

今後はさらに、多くの地域住民の参加を促すとともに、様々なスポーツ活動の機会を提供し、障害のある人も気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりの継続が重要です。

【スポーツ教室の実施状況】

教室名	教室数			対象者 ( )内は募集定員	時間帯			教程	会場
	H17	H28	増減		朝	昼	夜		
水泳	22	22	→	小学生(210人)		○		32	リージョンプラザ
				成人(230人)	○	○	○		
				障害者手帳を有する者と その介助者(20組)		○			
				未就学児童(60人)		○			
				幼児と親(20組)		○		12	
				妊娠5~9ヶ月の妊婦(20人)	○				
				小学生(60人)夏季	○				
				小学生(60人)夏季	○				
卓球	5	3	↘	小学生以上(50人)			○	32	リージョンプラザ
				成人(60人)	○	○			
バドミントン	2	3	↗	小1~小3(25人)			○	32	リージョンプラザ
				小4~高校生(30人)			○		
				高校生以上(30人)			○		
ビーチボール バレー	3	3	→	成人(120人)	○	○	○		リージョンプラザ
体操	8	7	↘	成人・男性(30人)		○		32	リージョンプラザ
				成人・女性(80人)	○		○		
				小学生(35人)			○		
				親と子ども(35組)	○				
				幼児~小学生(30人)			○		
60歳以上(65人)		○							
ソフトバレー ボール	1	1	→	高校生以上(30人)			○		リージョンプラザ
弓道	2	2	→	成人(20人)	○			30	リージョンプラザ
				高校生以上(20人)			○		
太極拳	2	2	→	成人(80人)	○			32	リージョンプラザ 本郷公民館
ヨガ	2	3	↗	成人(120人)	○	○			リージョンプラザ

資料：三原市教育委員会

#### (4) スポーツ大会の開催状況

本市では毎年多くのスポーツ大会を開催しています。開催している大会の中で参加者数が最も多いのは市民体育大会です。

##### 【スポーツ大会の開催状況（市主催）】

名称	参加者数(H27)
市民ゲートボール大会	165人(25チーム)
市民グラウンド・ゴルフ大会	257人(34チーム)
市民体育大会	2,600人
市民ビーチボールバレー大会	475人(81チーム)
トライアスロンさぎしま大会	490人
白竜湖ふれあいグリーンマラソン大会	1,278人

資料：三原市教育委員会

##### 【スポーツ大会の開催状況（市体育協会主催）】

名称	参加者数(H27)
三原駅伝大会	850人
リージョンプラザ杯争奪卓球大会	220人
三原市ソフトボール選手権大会兼県民大会予選会	100人
備後柔道連盟昇段審査試合	60人
三原市長杯少年少女剣道交歓大会	80人
三原市空手道選手権大会	100人
三原市長旗争奪軟式野球大会	540人
三原市長杯争奪ソフトテニス大会	58人
子ども創作大会	50人
三原市長杯弓道選手権大会	70人
三原市長杯バレーボール大会	290人
三原マスターズ水泳大会	379人
尾三地区一般リーグ戦（バスケットボール）	350人
三原市民登山大会	81人
市長議長杯三原オープンダブルス大会（テニス）	124人
三原市長杯ビーチボールバレー大会	130人
三原市長旗ゲートボール大会	120人
三原広域バドミントン大会	160人
三原市ゴルフ協会ゴルフ大会	221人
三原市民ボウリング大会	87人
三原市民グラウンド・ゴルフ選手権大会	339人
三原市体操フェスタ	36人
三原市合気道連盟演武大会	65人
三原たこカップソフトバレーボール大会	500人
三原サッカーフェスティバル	231人
三原市ターゲット・バードゴルフ大会	35人

資料：三原市教育委員会

【スポーツ大会の開催状況（スポーツ少年団主催）】

名称	参加者数(H27)
三原市空手道選手権大会	104人
近郷スポーツ少年団交流バレーボール大会	27チーム
近郷スポーツ少年団交歓剣道大会	個人82人、団体13チーム
三原オープンジュニアソフトテニス大会	152チーム
三原市スポーツ少年団秋季交歓球技大会	12チーム
三原市少年軟式野球新人交歓大会	11チーム
三原市長杯少年サッカー大会	18チーム
尾三地区スポーツ少年団剣道交歓大会	個人189人、団体42チーム
白竜湖カップ小学生バレーボール大会	13チーム
三原フレンドリーカップ小学生バレーボール大会	20チーム
大和白竜湖少年野球大会	12チーム
ドルフィンクラブ招待水泳記録会	222人
三原市スポーツ少年団ロードレース大会	240人

資料：三原市教育委員会

（５）スポーツ指導者の育成状況

スポーツ推進委員数をみると、市では委員数54人のうち男性が47人、女性が7人となっており、女性の指導者が少ない状況になっています。また、全体的に減少傾向にあるため、各協会や連盟など様々な団体と連携を取りながら、指導者の育成を行っていく必要があります。

【スポーツ推進委員数】

名称	委員数(人)			男性(人)			女性(人)			住民1万人当たりの推進委員数(人)		
	H17	H28	増減	H17	H28	増減	H17	H28	増減	H17	H28	増減
三原市	59	54	↓	49	47	↓	10	7	↓	5.6	5.5	↓
広島県	1,512	1,352	↓	1,047	890	↓	465	462	↓	5.3	4.8	↓

資料：三原市教育委員会

【体育協会加盟団体】

H28 体育協会加盟団体名		
三原市陸上競技協会	三原市弓道連盟	三原市ゴルフ協会
三原市卓球協会	(一財)広島県バレーボール協会三原支部	広島県ボウリング連盟三原支部
三原市ソフトボール協会	三原市水泳連盟	三原市グラウンド・ゴルフ協会
備後柔道連盟三原支部	三原市バスケットボール協会	三原市体操協会
三原市剣道連盟	三原山の会	三原市合気道連盟
三原市空手道連盟	三原市テニス協会	三原市ソフトバレーボール
三原市軟式野球連盟	広島県ビーチボールバレー協会三原支部	三原市サッカー協会
三原市ソフトテニス連盟	三原市ゲートボール協会	三原ターゲット・バードゴルフ協会
三原市レクリエーション協会	三原市バドミントン協会	

資料：三原市教育委員会

体育協会加盟団体数		
H17	H28	増減
24	26	↑

資料：三原市教育委員会

### 3 小中学生の体力・運動能力の状況

#### (1) 体力テスト

都道府県別体力テストでみると、小学生男女（5年生）と中学生男女（2年生）ともに総合評価Aが、全国と県を上回る結果になっています。また、種目平均をみると中学生男子では「握力」、中学生女子では「50m走」が全国と県を下回る結果となっていますが、小学生では男女ともにほとんどの種目で全国と県を上回る結果となっています。

今後も、運動や遊びの中でスポーツの基本的な動きを身につけるとともに、スポーツに積極的に参加しながら、楽しく続けていくことができる環境づくりが重要です。

【都道府県別体力テスト他（全国・広島県・三原市）】

		種目別平均								
		握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトル ラン (回)	持久走 男子 1,500m 女子 1,000m (秒)	50m 走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ソフトボール ハンドボール投げ (m)
小学生男子 (5年生)	全国公立	17.12	20.64	33.48	43.82	56.48		9.29	154.30	23.91
	広島県	16.82	21.33	33.92	44.58	56.08		9.22	155.52	24.49
	三原市	17.57	22.55	35.51	47.48	59.95		9.12	159.41	24.46
中学生男子 (2年生)	全国公立	29.66	28.09	43.79	53.28	90.29	381.74	7.84	196.97	21.32
	広島県	29.63	28.61	45.36	54.09	86.27	389.69	7.87	198.97	21.19
	三原市	29.29	29.38	44.91	53.99	91.53	未測定	7.84	199.76	21.56
小学生女子 (5年生)	全国公立	16.58	19.24	38.39	41.76	44.45		9.50	147.35	14.41
	広島県	16.48	20.45	38.26	42.61	45.07		9.49	149.21	15.19
	三原市	16.70	21.18	38.96	43.99	49.97		9.42	151.88	15.71
中学生女子 (2年生)	全国公立	24.00	24.01	45.39	47.38	61.07	285.66	8.74	171.29	13.41
	広島県	24.14	24.70	47.47	48.16	58.93	292.68	8.74	172.03	13.61
	三原市	24.43	25.56	47.40	49.73	61.74	未測定	8.84	172.84	14.17

資料（三原市教育委員会）：平成28年度 広島県児童生徒の体力・運動能力調査結果

【都道府県別体力テスト他（全国・広島県・三原市）】

		体力 合計点 (平均)	総合評価（段階別）				
			A 小学生(65以上) 中学生(57以上)	B 小学生(58~64) 中学生(47~56)	C 小学生(50~57) 中学生(37~46)	D 小学生(42~49) 中学生(27~36)	E 小学生(41以下) 中学生(26以下)
小学生男子 (5年生)	全国公立	56.10	17.31%	26.40%	35.98%	16.05%	4.26%
	広島県	56.61	17.30%	30.86%	32.40%	15.26%	4.19%
	三原市	59.04	26.44%	35.34%	25.86%	9.48%	2.87%
中学生男子 (2年生)	全国公立	43.39	5.60%	30.65%	42.21%	19.79%	1.75%
	広島県	44.03	11.32%	30.36%	34.99%	18.90%	4.43%
	三原市	45.14	16.09%	31.23%	29.97%	17.35%	5.36%
小学生女子 (5年生)	全国公立	57.55	19.94%	31.31%	33.89%	13.36%	1.50%
	広島県	58.35	23.10%	32.11%	31.09%	11.43%	2.27%
	三原市	60.24	34.81%	29.69%	25.94%	8.19%	1.37%
中学生女子 (2年生)	全国公立	50.83	30.34%	36.51%	23.79%	8.58%	0.78%
	広島県	51.57	34.52%	33.82%	23.06%	7.72%	0.88%
	三原市	53.35	44.35%	30.95%	17.86%	5.65%	1.19%

資料（三原市教育委員会）：平成28年度 広島県児童生徒の体力・運動能力調査結果

## 4 前回計画の評価

### (1) 計画目標の進捗状況

#### ①運動実施頻度

市民アンケートによると、週1回以上・30分以上、スポーツや運動をしている割合は、平成18年度の時点に比べて、4.5ポイント上昇し、平成28年度には、44.6%となりました。しかし、目標の50.0%には達していません。

目標	平成18年度	平成28年度	
	実績値	目標値	実績値
週1回以上・30分以上のスポーツや運動の実施頻度を50%以上にします。	40.1%	50.0%以上	44.6%

#### ②全国大会出場数

全国大会出場数については、平成18年度の時点に比べて、個人は8人減少し、団体は5団体増加となっています。

目標	平成18年度	平成28年度	
	実績値	目標値	実績値
全国大会への出場数（個人）	56人	100人以上	48人
全国大会への出場数（団体）	10団体	20団体以上	15団体

#### ③総合型地域スポーツクラブの設立

本市では、総合型地域スポーツクラブとして「沼田川ファミリークラブ」が平成23年に設立されました。

目標	平成18年度	平成28年度	
	実績値	目標値	実績値
総合型地域スポーツクラブの設立	0	1	1



[市民ゲートボール大会]



## 5 アンケートの結果でみるスポーツに対する意識・意向

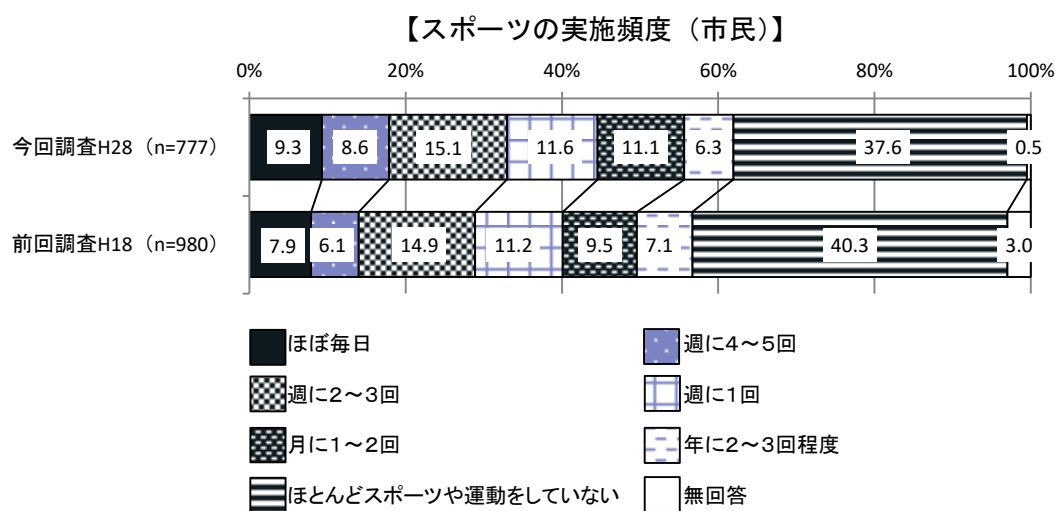
### 5-1 市民・中高生アンケート

#### (1) スポーツの実施状況

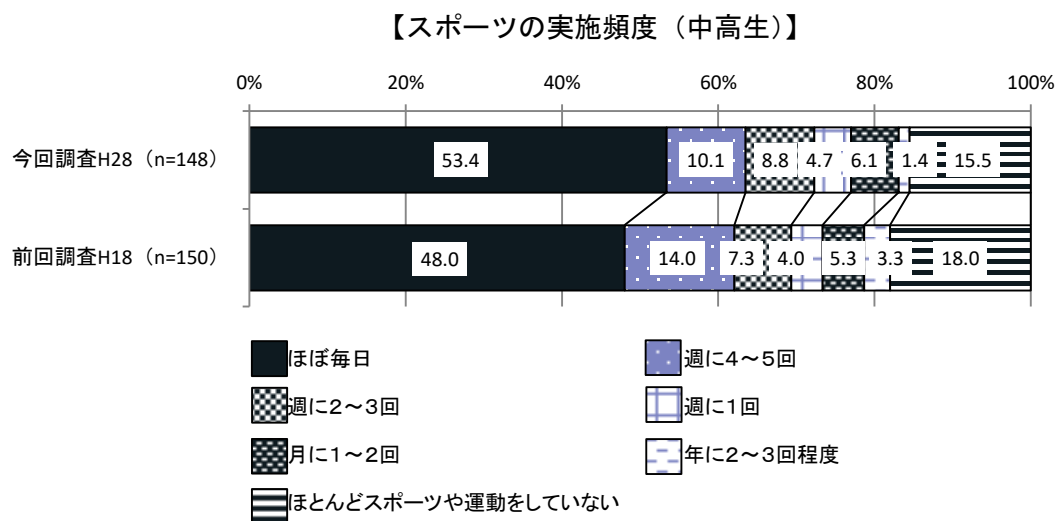
##### ①実施頻度

スポーツの実施状況を見ると、市民アンケートでは、『今回調査 H28』と『前回調査 H18』ともに「ほとんどスポーツや運動をしていない」の割合が3割を超えています。また、中高生アンケートでは『今回調査 H28』と『前回調査 H18』ともに「ほぼ毎日」の割合が4割を超えています。

アンケートでは、市民（18歳以上）、中高生ともに、スポーツを定期的に行っている割合が増加しています。スポーツに取り組みやすい環境を整備し、今後、より一層のスポーツの習慣化につなげることが必要です。



資料：三原市スポーツに関する市民アンケート（H18, H28）

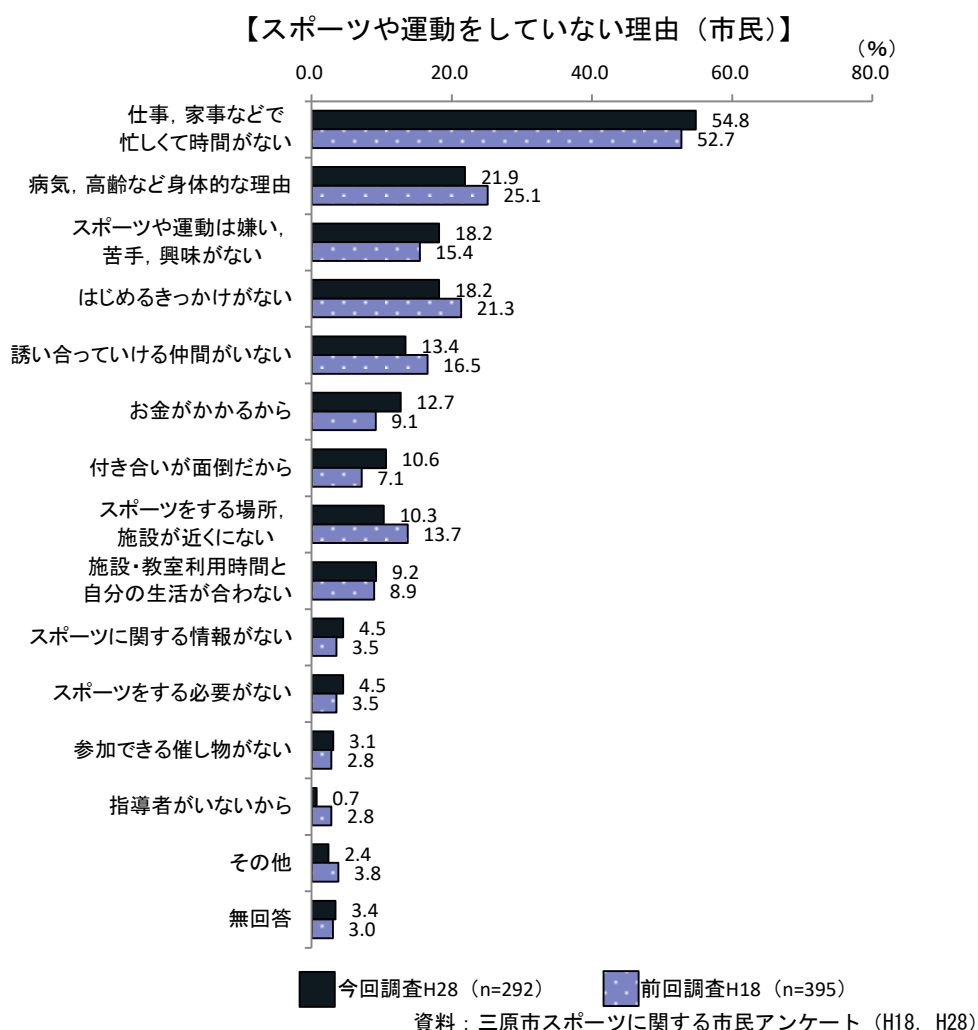


資料：三原市スポーツに関する中高生アンケート（H18, H28）

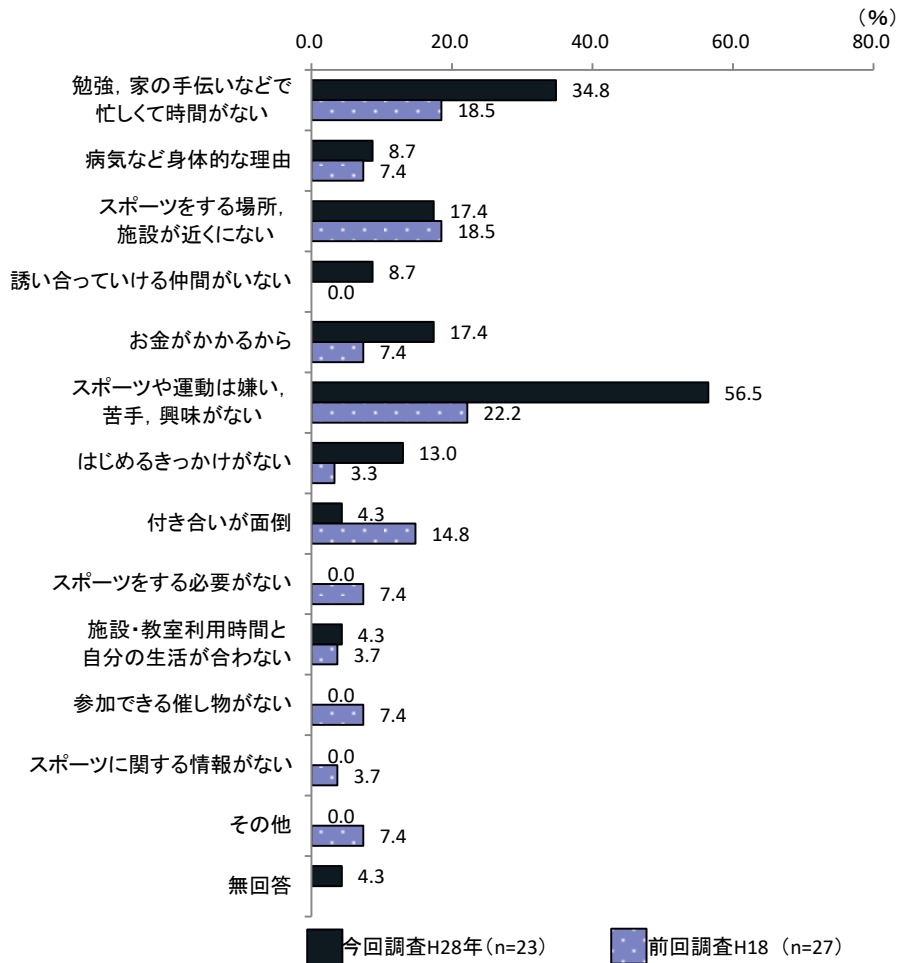
## ②スポーツや運動をしていない理由

スポーツや運動をしていない理由をみると、市民アンケートでは、『今回調査 H28』と『前回調査 H18』ともに「仕事、家事などで忙しくて時間がない」の割合が5割を超えています。また、中高生アンケートでは、『今回調査 H28』は『前回調査 H18』より「スポーツや運動は嫌い、苦手、興味がない」が34.3ポイント高くなっています。

市民（18歳以上）については、スポーツを実施・継続するために、多様なライフスタイルへの対応や施設の整備が必要です。また、スポーツを行っていない・興味のない人がスポーツを行うための環境づくりや働きかけが重要です。それに加えて、中高生では、スポーツに対して苦手意識があったり、興味を持たない人が増加しており、体を動かす楽しさや心地よさ、スポーツによる達成感を味わう機会を提供し、スポーツへの関心を高める必要があります。



### 【スポーツや運動をしていない理由（中高生）】



資料：三原市スポーツに関する中高生アンケート（H18, H28）



### ③継続的に行いたいスポーツ

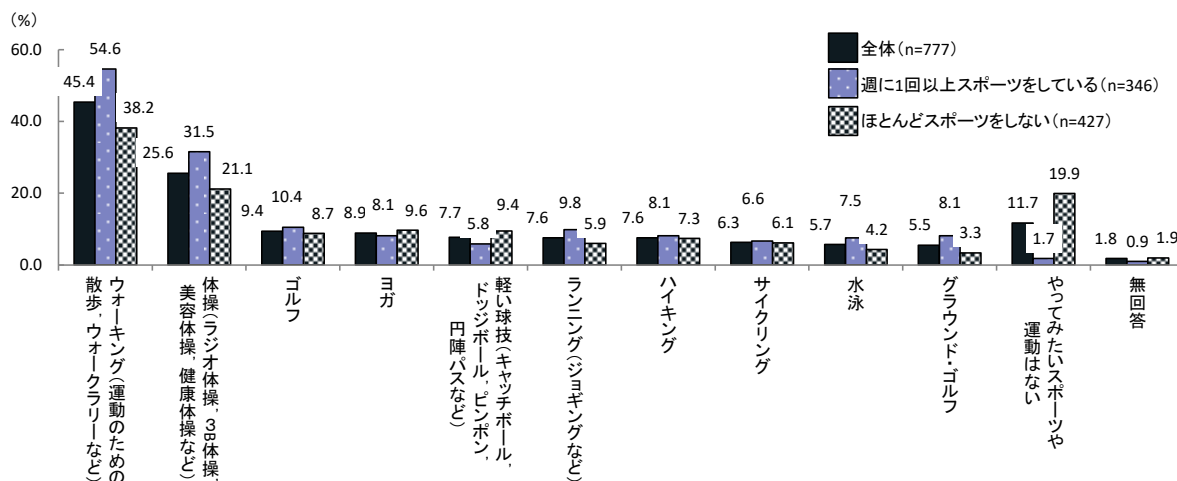
今後、継続的に行っていききたいスポーツをみると、市民アンケートでは、『今回調査 H28』と『前回調査 H18』ともに、「ウォーキング（運動のための散歩、ウォークラリーなど）」や「体操（ラジオ体操、3B体操、美容体操、健康体操など）」といった、身近な場で行うことができ、道具を特に必要としない運動の割合が高くなっています。

【今後継続的に行っていききたいスポーツ（上位5項目）】

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (H28)	ウォーキング (運動のための散歩、ウォークラリーなど)	体操 (ラジオ体操、3B体操、美容体操、健康体操など)	ゴルフ	ヨガ	軽い球技 (キャッチボール、ドッジボール、ピンポン、円陣パスなど)
	45.4%	25.6%	9.4%	8.9%	7.7%
前回調査 (H18)	ウォーキング (運動のための散歩)	体操 (ラジオ体操、3B体操、美容体操、健康体操等)	軽い球技 (キャッチボール、ドッジボール、ピンポン等)	ハイキング	ヨガ
	45.2%	22.7%	11.3%	8.2%	7.0%

資料：三原市スポーツに関する市民アンケート（H28）  
三原市スポーツに関する市民アンケート（H18）

【今後継続的に行っていききたいスポーツ（上位10項目/市民）】



資料：三原市スポーツに関する市民アンケート（H28）

## (2) スポーツ行事・団体への参加状況

### ①スポーツ行事・教室等

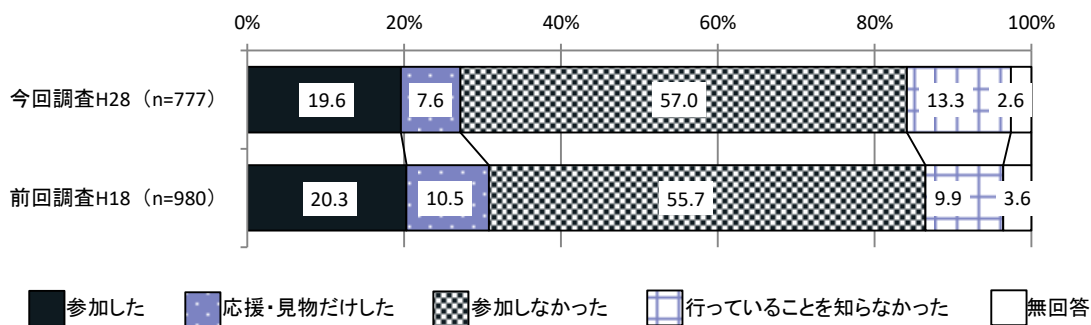
スポーツ行事・教室等への参加状況を見ると、市民アンケートでは、『今回調査 H28』と『前回調査 H18』ともに「参加しなかった」の割合が5割を超えています。

今後の参加希望をみると、市民アンケートでは、『今回調査 H28』と『前回調査 H18』ともに「参加したいと思わない」の割合が2割を超えています。

年齢別でみると、若年層と高齢者で「参加したいと思わない」の割合が3割を超えています。

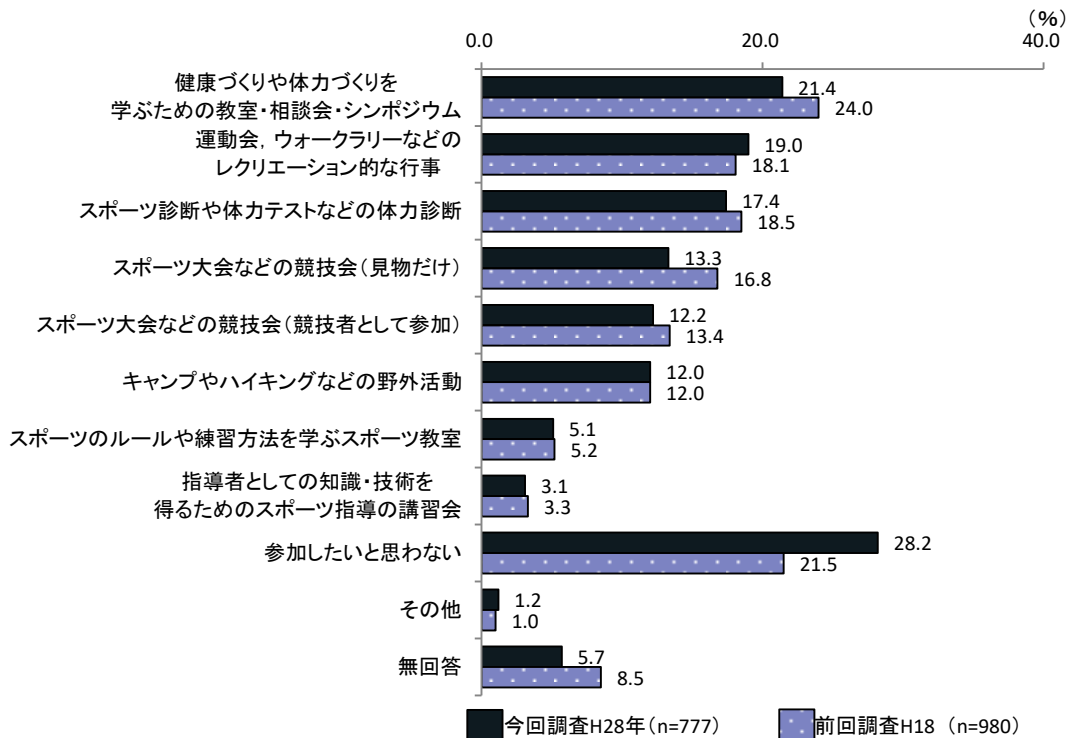
若者や高齢者が興味を持てるイベントなどの開催を検討するとともに、各種スポーツ教室や大会・イベント等の開催を通して、スポーツを行うきっかけづくりを積極的に行っていく必要があります。

【スポーツ行事・教室等への参加状況（市民）】



資料：三原市スポーツに関する市民アンケート（H18, H28）

【今後の参加希望（市民）】



資料：三原市スポーツに関する市民アンケート（H18, H28）

### 【年齢別/今後の参加希望（市民）】

	サンプル数	学ぶための教室・相談会・相談会・	健康づくりや体力づくりを	シンポジウム	運動会、ウォークラリーなどのレクリエーション的な行事	スポーツ診断や体力テストなどの体力診断	スポーツ大会などの競技会（見物だけ）	スポーツ大会などの競技会（競技者として参加）	（競走者として参加）	の野外活動	キャンプやハイキングなどの	法を学ぶスポーツ教室	指導者としての知識・技術の講習会	参加したいと思わない	その他	無回答
全体（今回調査H28）	777	21.4%	19.0%	17.4%	13.3%	12.2%	12.0%	5.1%	3.1%	28.2%	1.2%	5.7%				
全体（前回調査H18）	980	24.0%	18.1%	18.5%	16.8%	13.4%	12.0%	5.2%	3.3%	21.5%	1.0%	8.5%				
年齢別	18～29歳（H28）	51	3.9%	11.8%	↓7.8%	17.6%	↑43.1%	11.8%	7.8%	3.9%	31.4%	2.0%	2.0%			
	18～29歳（H18）	96	10.4%	10.4%	29.2%	12.5%	25.0%	10.4%	4.2%	25.0%						
	30～39歳（H28）	73	6.8%	↑23.3%	17.8%	12.3%	↑30.1%	15.1%	9.6%	5.5%	28.8%	0.0%	2.7%			
	30～39歳（H18）	116	12.9%	11.2%	24.1%	12.9%	19.0%	11.2%	8.6%	6.0%	28.4%					
	40～49歳（H28）	110	22.7%	18.2%	19.1%	11.8%	17.3%	17.3%	10.9%	5.5%	19.1%	0.9%	0.9%			
	40～49歳（H18）	134	19.4%	26.9%	21.6%	17.9%	14.9%	13.4%	8.2%	4.5%	20.9%					
	50～59歳（H28）	105	↓21.9%	22.9%	22.9%	12.4%	11.4%	13.3%	6.7%	2.9%	↑28.6%	1.9%	1.9%			
	50～59歳（H18）	189	32.3%	22.8%	17.5%	16.4%	13.8%	18.5%	3.2%	3.7%	16.4%					
	60～69歳（H28）	209	30.6%	20.1%	16.7%	11.5%	4.3%	12.4%	0.5%	2.4%	↑31.6%	0.0%	4.8%			
	60～69歳（H18）	219	33.3%	17.4%	19.6%	17.8%	10.0%	12.3%	5.0%	2.7%	17.4%					
70歳以上（H28）	193	21.8%	15.0%	17.1%	17.6%	4.7%	4.7%	3.6%	1.0%	31.1%	2.6%	10.9%				
70歳以上（H18）	200	22.0%	16.5%	9.0%	20.0%	7.5%	6.0%	1.0%	0.5%	26.5%						

■:10ポイント以上変化しているもの

資料：三原市スポーツに関する市民アンケート（H18, H28）



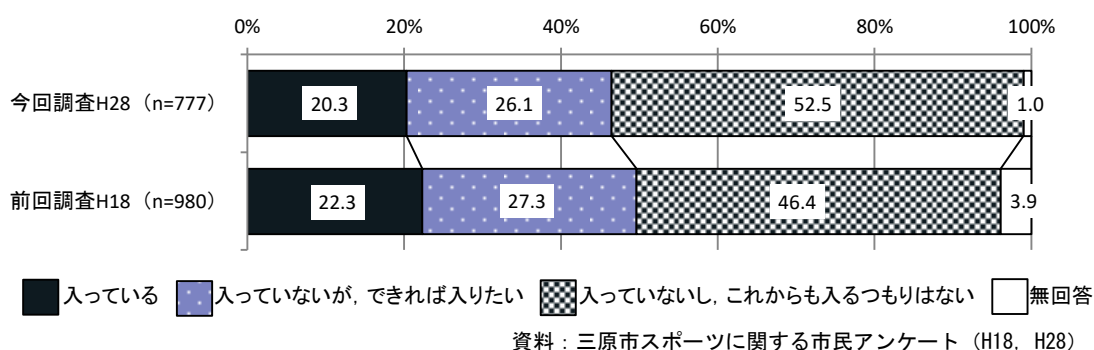
## ②スポーツクラブ等

スポーツクラブ等への参加をみると、市民アンケートでは、『今回調査H28』と『前回調査H18』ともに「入っていないし、これからも入るつもりはない」の割合が4割を超えています。また、中高生アンケートでは、『今回調査H28』と『前回調査H18』ともに「入っている」の割合が7割を超えています。

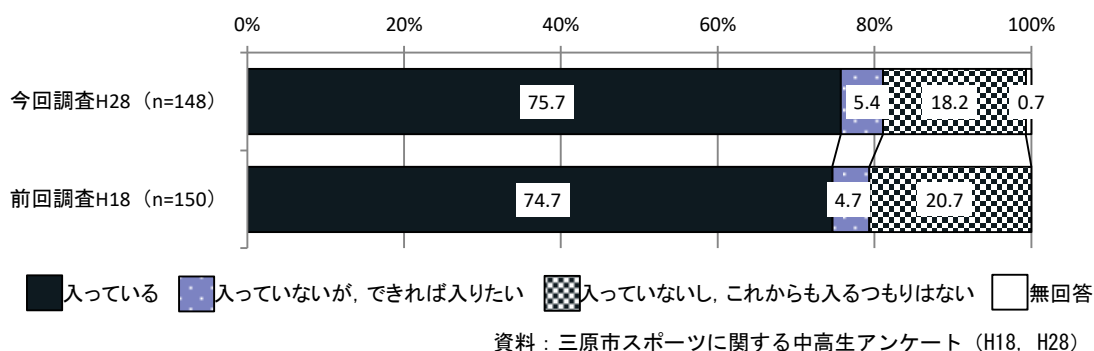
参加しているクラブの内容をみると、市民アンケートでは、『今回調査H28』と『前回調査H18』ともに「友人や仲間構成しているクラブ、同好会」の割合が3割を超えています。

市民が身近にスポーツをすることができる環境を整備するとともに、スポーツをしない人に対して、スポーツの価値や重要性を理解してもらい、スポーツをすることを促すための施策を講じる必要があります。

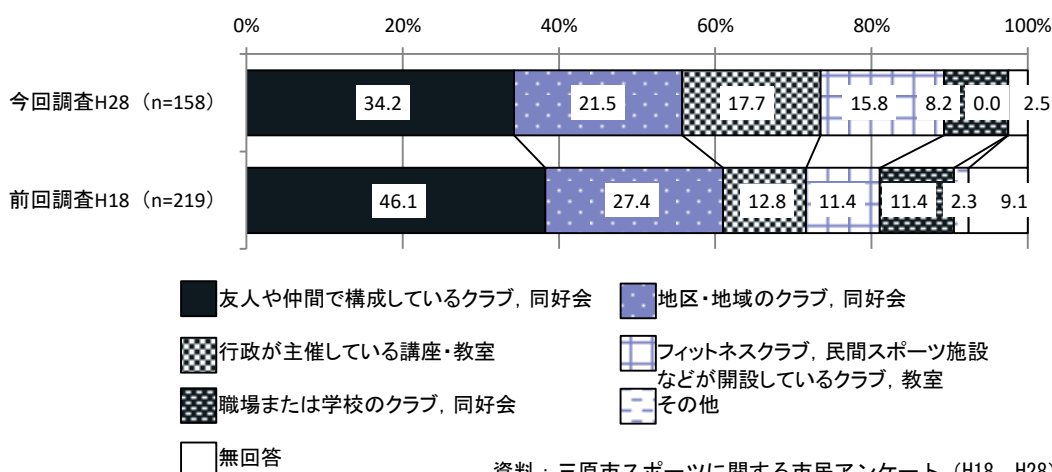
【スポーツクラブ等への参加状況（市民）】



【スポーツクラブ等への参加状況（中高生）】



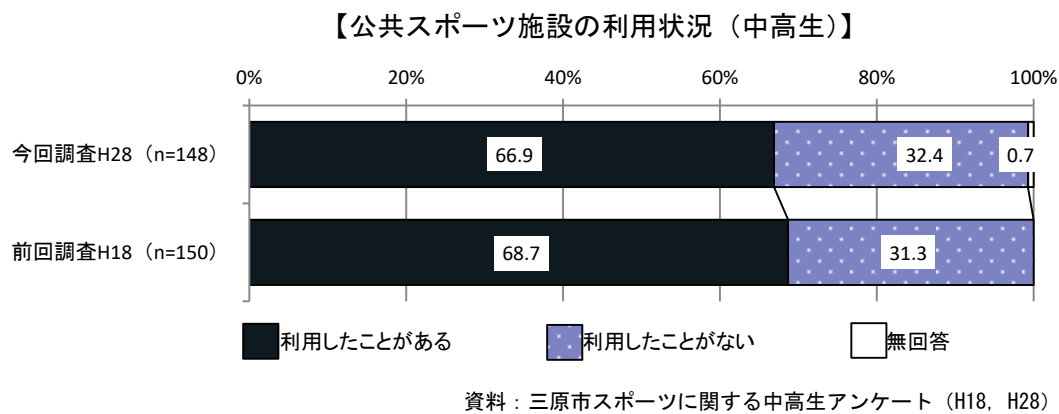
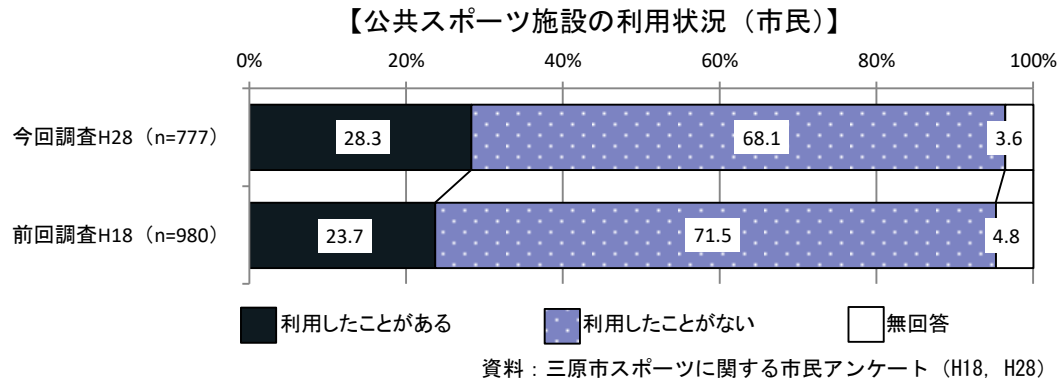
【参加しているクラブの内容（市民）】



### (3) 施設利用

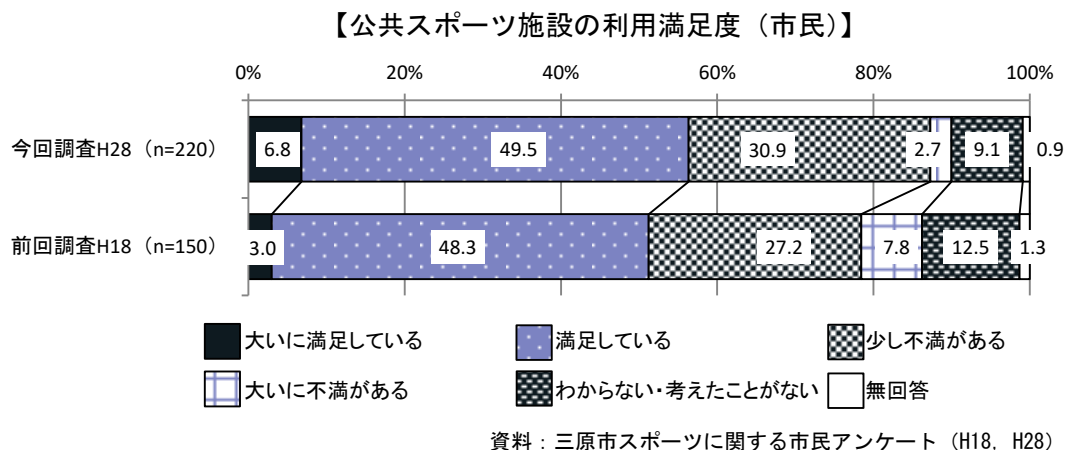
#### ①公共スポーツ施設の利用状況

公共スポーツ施設の利用状況をみると、市民アンケートでは、『今回調査H28』と『前回調査H18』ともに「利用したことがない」の割合が6割を超えています。また、中高生アンケートでみると、『今回調査H28』と『前回調査H18』ともに「利用したことがある」の割合が6割と高くなっています。



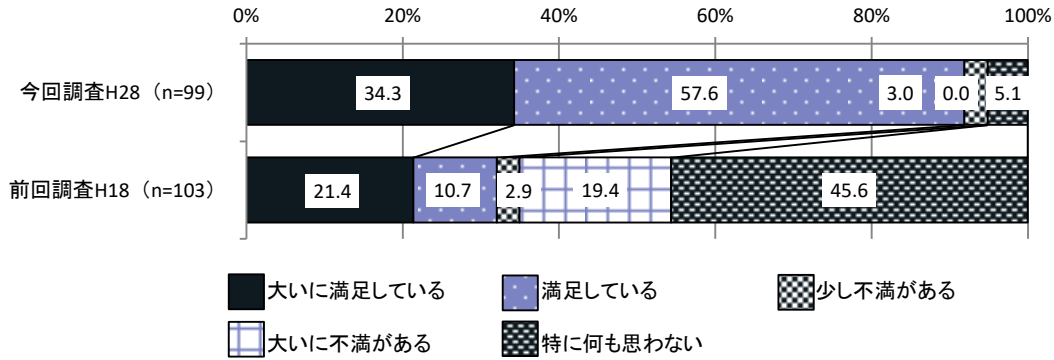
#### ②公共スポーツ施設の利用満足度

公共スポーツ施設の利用満足度をみると、市民アンケートでは、『今回調査H28』と『前回調査H18』ともに「満足している」の割合が4割を超えています。また、中高生アンケートでみると、『今回調査H28』は『前回調査H18』より「大いに不満がある」が19.4ポイント低くなっています。





【公共スポーツ施設の利用満足度（中高生）】



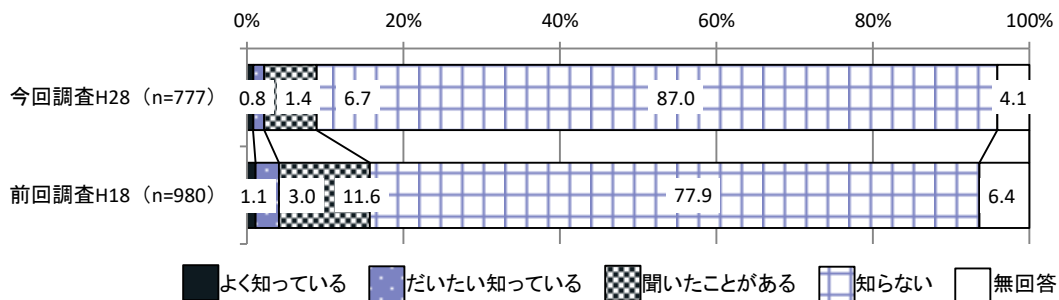
資料：三原市スポーツに関する中高生アンケート（H18, H28）

③総合型地域スポーツクラブの認知度

総合型地域スポーツクラブの認知度をみると、市民アンケートでは、『今回調査 H28』と『前回調査 H18』ともに「知らない」の割合が7割を超えています。

今後は、より多くの地域住民の参加を促すとともに、積極的な情報提供を行い、知名度を高めていく必要があります。

【総合型地域スポーツクラブの認知度（市民）】



資料：三原市スポーツに関する市民アンケート（H18, H28）



[トライアスロンさぎしま大会]

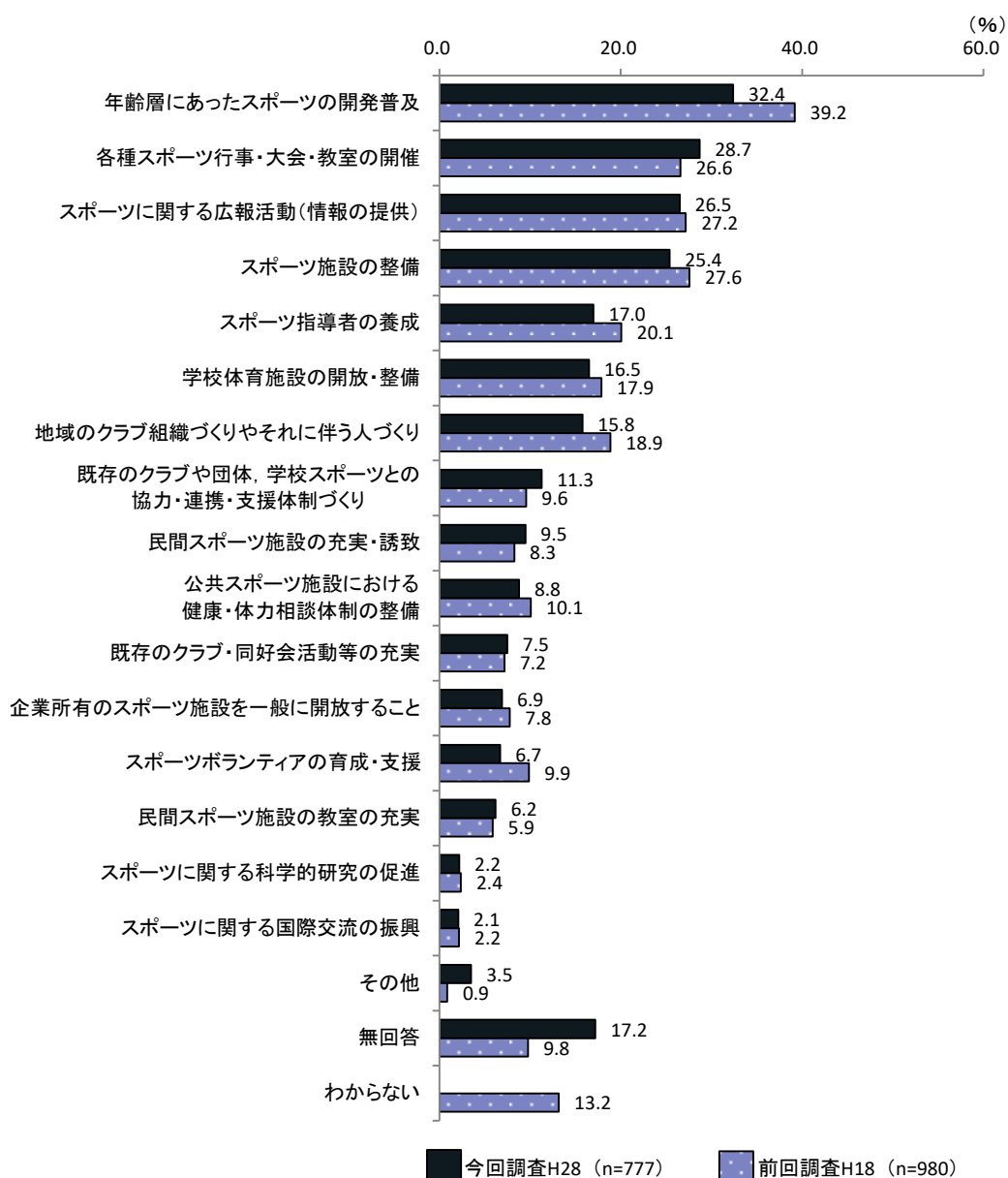
## (4) 今後のスポーツ施策に関する要望

### ①スポーツ振興に向けた要望

スポーツ振興に向けた要望をみると、市民アンケートでは、『今回調査H28』と『前回調査H18』ともに「年齢層にあったスポーツの開発普及」の割合が3割を超えています。また、中高生アンケートでは、『今回調査H28』と『前回調査H18』ともに「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」の割合が4割を超えています。

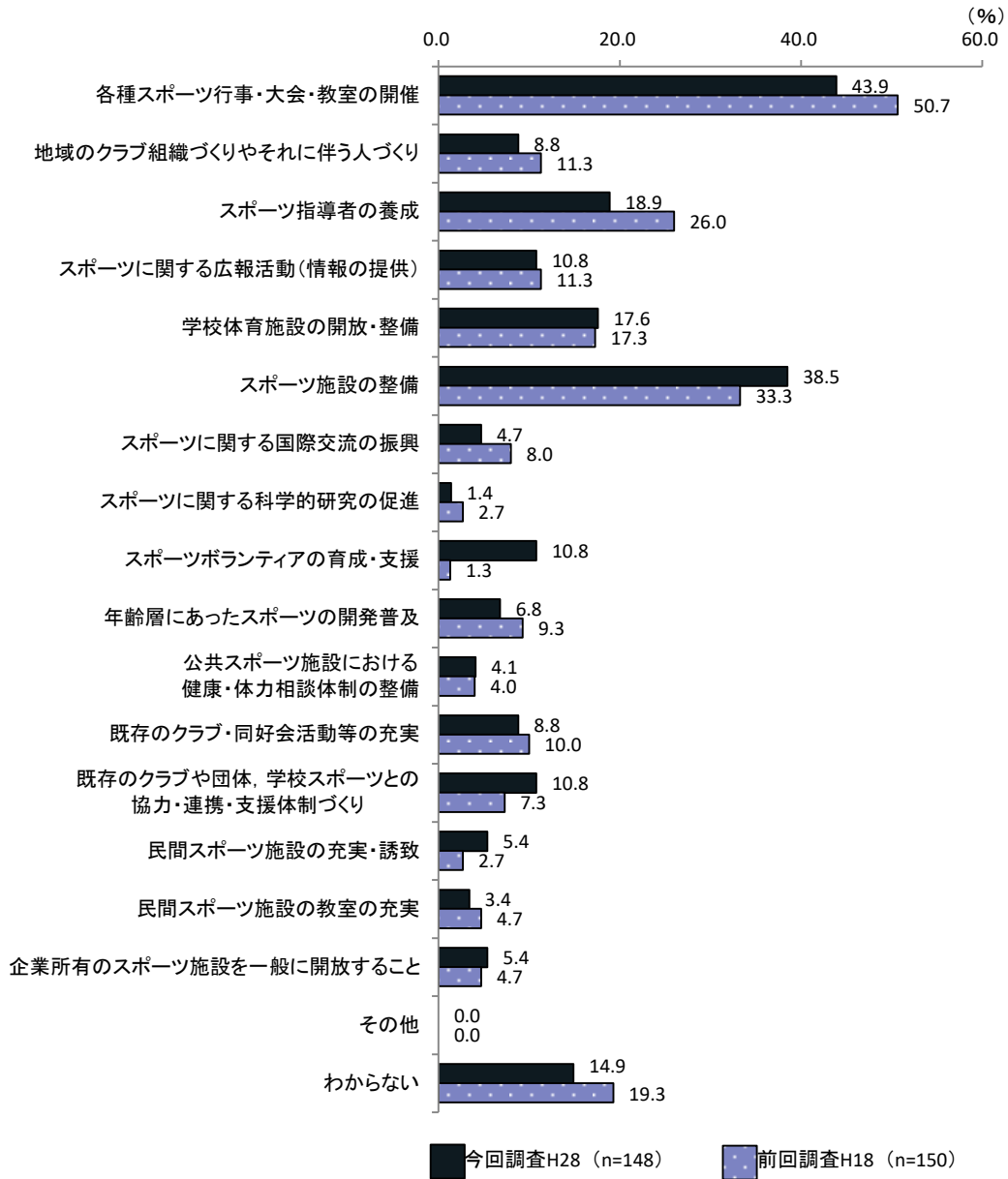
今後は、年齢層にあったスポーツの開発普及の促進や各種スポーツ行事・大会・教室の開催の検討、スポーツ施設の整備の充実を図る必要があります。

【スポーツ振興に向けた要望（市民）】



資料：三原市スポーツに関する市民アンケート（H18、H28）

### 【スポーツ振興に向けた要望（中高生）】



資料：三原市スポーツに関する中高生アンケート（H18, H28）

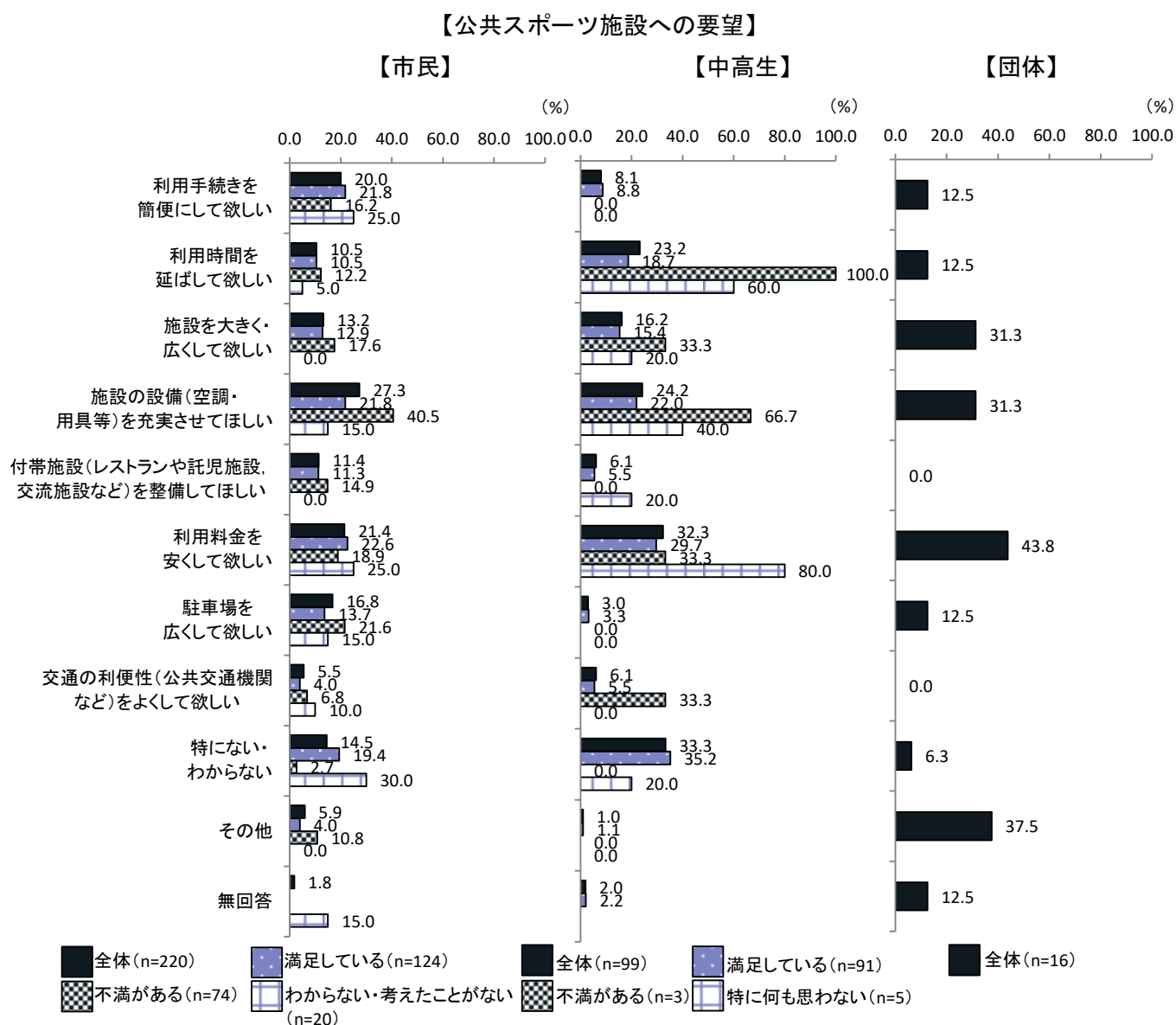


〔市民ビーチボールバレー大会〕

## ②公共スポーツ施設への要望

公共スポーツ施設への要望をみると、『不満がある』と回答している人の要望は、市民アンケートでは「施設の設備（空調・用具等）を充実させてほしい」となっています。また、中高生アンケートでは「利用時間を延ばして欲しい」が高くなっており、団体アンケートでは「利用料金を安くして欲しい」が高くなっていきます。

今後は、市民に公共スポーツ施設の利用を積極的に進めていくとともに、施設の利用時間や利用料金の検討、空調や用具等の設備の充実を行っていく必要があります。



資料：三原市スポーツに関する市民アンケート、中高生アンケート、団体アンケート (H28)

## 5-2 スポーツ団体調査

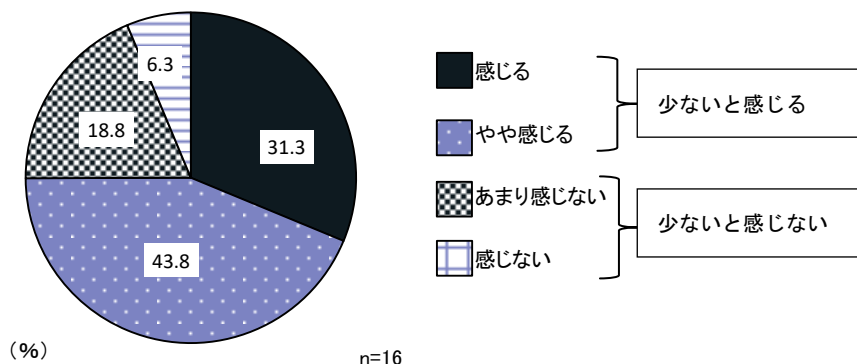
### (1) 団体における現状

【少ないと感じる】（「感じる」＋「やや感じる」）ことについて、競技人口が75.1%、運営を行う人材が81.3%、指導者の人数が56.3%と高くなっています。

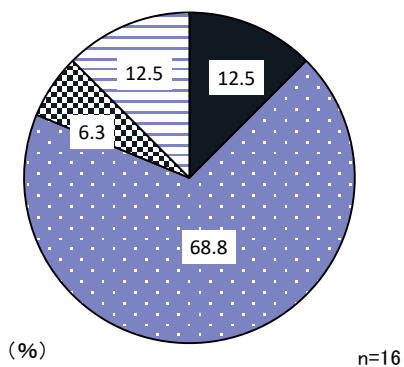
また、高齢化を感じるものとしては、「団体運営者」と「競技者」が43.8%「指導者」が31.3%となっています。

スポーツ団体においては、競技人口や人材の減少、構成員の高齢化が課題となっています。

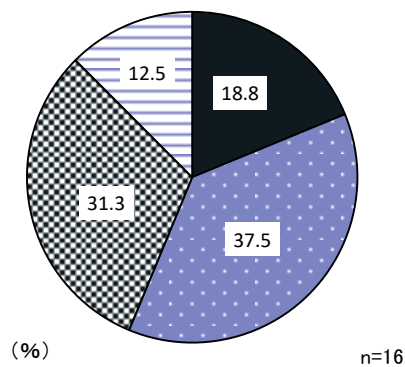
【競技人口の少なさ（団体）】



【運営を行う人材の少なさ（団体）】

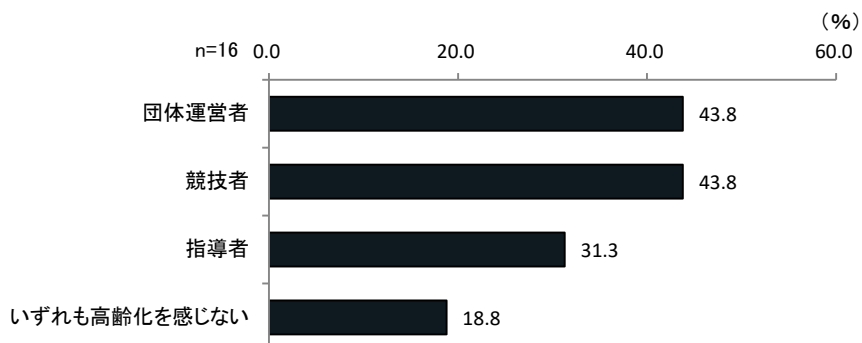


【指導者の少なさ（団体）】



資料：三原市スポーツに関する団体アンケート（H28）

【高齢化を感じるもの（団体）】



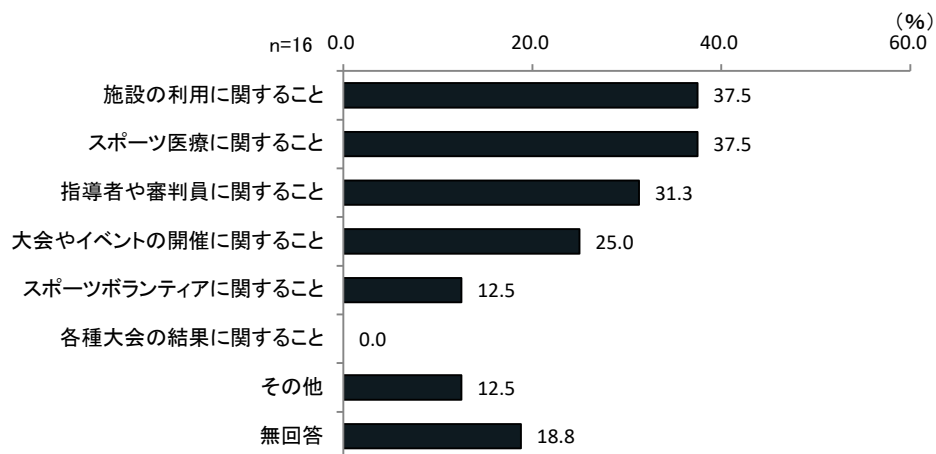
資料：三原市スポーツに関する団体アンケート（H28）

## (2) スポーツに関して入手したい情報

スポーツに関して入手したい情報をみると、「施設の利用に関すること」と「スポーツ医療に関すること」が37.5%と最も高くなっています。

施設の利用やスポーツ医療に関する情報を積極的に発信していくとともに、インターネットなどを活用して様々な人に提供できる環境づくりを行っていく必要があります。

【スポーツに関して入手したい情報（団体）】



資料：三原市スポーツに関する団体アンケート（H28）



[ウエスタン・リーグ]

## 6 スポーツ活動を推進するうえでの今後の課題

### (1) 市民のスポーツや運動の実施状況

アンケートの結果によると、18歳以上の市民では、スポーツや運動を行う頻度が、週に1回以上の方が44.6%と半数近い一方で、ほとんどスポーツや運動をしていない人が37.6%みられます。特に、50歳未満の人々でスポーツや運動の実施頻度が低く、高齢者は毎日身体を動かしている割合が高い傾向にあります。

スポーツや運動ができない理由として、仕事や家事の忙しさが挙げられています。また、継続的に行いたいスポーツとしては、ウォーキングや体操といった身近な場で行うことができる運動のニーズが高くなっています。

時間的制約により身体を動かすことができない人々に対して、運動の機会の提供や、日常的に運動をすることができる環境づくりを行うことが必要です。

中高生においては、スポーツや運動を行う頻度が高くなっている一方で、スポーツや運動に対する苦手意識や関心の低さが顕著になっています。また、18歳以上の市民と同様に勉強、家の手伝いといった時間的制約が運動のできない理由の一因となっています。

中高生では、運動を定期的に行っている人と、運動に苦手意識を持ちあまり意欲的でない人の二極化が生じているとも考えられ、子どもがスポーツや運動に対して興味・関心を持つことができる環境づくりが必要です。

スポーツや運動に対して取り組むことが困難な状況や、取り組むために必要な支援は、ライフステージや、個人の特性によって異なっており、一人ひとりの状況に応じた支援や環境づくりを進めることが重要です。

### (2) 競技・スポーツ関係団体の活動状況

アンケートでは、回答者の市民の半数以上がスポーツ行事・教室に参加していないと回答しており、また、今後の参加意欲も低いことが示されています。少子化の影響もあり、スポーツ少年団や中学校運動クラブの活動からも、団員数、部員数ともに減少している種目が多いことが示されています。また、本市では、総合型地域スポーツクラブが設立されましたが、その認知度は低く、ほとんどの人に知られていない状況です。

スポーツ関係団体においては、競技人口、指導者、運営者ともに人材が少ない、高齢化が進んでいるといった課題を抱えています。

スポーツや運動に対する関心が低い人や接する機会が少ない人が、スポーツ関係のイベントや、スポーツ教室、総合型地域スポーツクラブ等の利用方法や活動内容を知ることができ、参加がしやすいように、情報提供を充実させることが重要です。

また、本市におけるスポーツ活動が活発化するよう、優れた指導者の育成や、スポーツ関係団体の自立した運営を支援することが望まれています。